

中国の記事から (WTO/FTA・貿易・安全 ・その他)

2007年1月19日号

目次

◎1～11月の全国農産物輸出額は14%増の278億ドル、輸入額は12%増の290億ドル
【国際商報 2007年01月16日】

◎1～11月の全国農産物輸出額は14%増の278億ドル、輸入額は12%増の290億ドル
【国際商報 2007年01月16日】

中国食品土畜進出口商会によると、2006年1～11月の全国農産物輸出額は278億ドル(14.1%増。前年同期比、以下同じ)、輸入額は290億ドル(12.0%増)、計568億ドル(12.9%増)を記録した。

同期、野菜、果物、花キの輸出額は79億1千万ドル(21.5%増)、水産物・製品輸出額は80億5千万ドル(19.4%増)、畜産物輸出額は18億3千万ドル(4.9%増)だった。

一方、水産物・製品輸入額は28億9千万ドル(8.6%増)、野菜輸入額は6億9千万ドル(47.2%増)、果物・堅果輸入額は6億7千万ドル(47.2%増)、野菜と果物製品輸入額は1億8千万ドル(28.5%増)、畜産物製品輸入額は6億2千万ドル(17.0%増)であった。

また、とうもろこし輸出量は260万4千トン(67.5%減)、輸出額3億4千万ドル(66.8%減)と大幅に減少。これに対してコメ輸出は107万トン(76.6%増)、3億6千万ドル(77.1%増)、小麦輸出は90万3千トン(373.3%増)、1億3千万ドル(358.7%増)と大幅に増加している。輸入は小麦が60万トン(82.7%減)、1億2千万ドル(84.8%減)、コメが63万2千トン(51.6%増)、2億5千万ドル(55.8%減)、大麦が198万2千トン(5.0%減)、3億7千万ドル(9.8%減)となった。

また、2006年1～11月の綿花輸入は340万2千トン(52.9%増。前年同期比、以下同じ)、45億4千万ドル(65.6%増)、動植物油脂の輸入は728万2千トン、34億3千万ドル(13.2%増)を記録している。同期のダイズ輸入は2584万5千トン(7.8%増)、67億7千万ドル(4.1%

減)、砂糖輸入は121万トン(11.3%減)、4億9千万ドル(31.2%増)、羊毛輸入は25万トン(12.6%増)、11億2千万ドル(2.6%増)だった。

一方、1～11月の各国・地区向け農産物額は日本向けが全体の26.8%、EU25カ国向けが14.1%、米国向けが12.2%、韓国向けが9.1%、香港向けが8.6%を占めた。輸入額は米国からが全体の23.4%、ASEANからが15.3%、ブラジルからが12.6%、アルゼンチンからが7.4%、オーストラリアからが7.2%を占めている。農産物輸出額が多かったのは山東省、広東省、浙江省、福建省、遼寧省で、これら5省で全体の63%を占めている。輸入額が多いのは山東省、広東省、北京市、江蘇省、上海市、5省・市で全体の70%を占めた。また1～11月、一般貿易による農産物輸出額は210億ドル(14.0%増)、輸入額は201億2千万ドル(10.0%増)、加工貿易による輸出額は60億1千万ドル(13.9%増)、輸入額は52億9千万ドル(2.0%増)を記録した。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。